

TDB 圏域別景気 DI (2020 年 12 月)

12 月の景況感が悪化した圏域数、前月から倍増 ～ 「1 年後」の見通しは上向きを期待する圏域が多い～

データソリューション企画部

池田 直紀

TDB 景気動向調査 (2020 年 12 月) の景気 DI は、前月比 0.4 ポイント減の 35.0 となり 7 カ月ぶりに悪化した。新型コロナウイルス感染症の再拡大にともない観光支援の各種施策が全国的に一時停止したことなどが悪材料となり、持ち直しの傾向がストップした。さらに、冬季賞与の減額や一部地域での休業・営業時間短縮などで、個人消費の落ち込みがみられた。本レポートでは、全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割し、特に景気 DI が高い圏域や「1 年後」の先行き見通し DI の動向について捉えた。

1. 前月比悪化の圏域が 11 月より倍増するも、「和歌山南部」では 50.0 を記録

TDB 景気動向調査 (2020 年 12 月) の景気 DI は前月比 0.4 ポイント減の 35.0 となり、7 カ月ぶりに悪化した。圏域別にみると前月から 130 圏域のうち 56 圏域で改善 (2020 年 11 月 91 圏域)、72 圏域が悪化 (同 35 圏域) となり、前月比で悪化となる圏域が 2 倍以上となった。横ばいは 2 圏域 (同 4 圏域) だった。

また、景気 DI を 10 ポイント区切りで見ると、50 台以上は 1 圏域 (同 2 圏域)、40 台は 13 圏域 (同 16 圏域)、30 台は 110 圏域 (同 106 圏域)、20 台は 6 圏域 (同 6 圏域) となった。景気 DI が 20 台以下の圏域は前月と同数だが、40 台以上の圏域が減少し、全体の景況感を押し下げた。

圏域別の順位は、和歌山県田辺市などの「和歌山南部」が 50.0 で最高となった。企業からは、「官庁工事及び民間工事ともに発注されており、景気は良いと思う」(建設、和歌山南部) や「年度末に向けて急激に工事発注量が増加」(建設、和歌山南部) といった声にあるように、『建設』を中心に域内の景気をけん引した。以下、熊本県八代市などの「県南・天草」(45.8)、高知県南国市などの「高知南部」(44.1)、岡山県津山市などの「美作」(43.7)、広島県三次市などの「備北」(43.3) が 40 台で上位に並んだ。

2. 「1 年後」の先行き見通し DI、4 圏域で 50 以上、さらに 8 割の圏域で 40 台以上を見込む

他方、「1 年後」の先行き見通し DI を圏域別みると、徐々に上向きを期待する様子が見えがえた。佐賀県唐津市などの「佐賀北部」は 51.4 で最高となり、次いで、神奈川県小田原市などの「県西」(51.2)、広島県三次市などの「備北」、高知県南国市などの「高知東部」(ともに 50.0) が 50 台で続いた。

¹ 企業が実感する地域の景況感により近づけるため、地域の経済的なつながりや交通網などを考慮し全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割して、圏域別景気 DI を算出

1年後の先行き見通しDIを10ポイント区切りで見ると、50台以上は4圏域、40台は10圏域、30台は26圏域、20台以下は0圏域となり、8割の圏域で40台以上を見込む。

企業からは、「ワクチンの摂取など新型コロナウイルスの感染状況が好転し、消費意欲の増加やリベンジ消費に期待」（飲食料品卸売、佐賀北部）というように期待を込めた前向きな声があがった。加えて、「しばらくの間は、災害復旧関連工事の消化が見込める」（建設、備北）や「2021年度の国土強靱化、景気対策で公共投資はある程度確保できると思う」（建設、高知東部）など、災害復興や防災・減災のための堅調な公共事業に活路を見出す声も聞かれた。

さらに、「大手自動車メーカーの新車種登場が1年後のため」（輸送用機械・器具製造、備北）や「5G社会に向けた半導体需要の回復、モバイル機器の需要増など回復基調が継続すれば、電子部品業界は悪化する要素は少ない」（電気機械製造、東部・富士五湖）など、地域の主要産業に関連する企業で改善を期待する意見もあげられている。

表1 2020年12月の圏域別景気DIと「1年後」の先行き見通しDI～上位10圏域～

2020年12月調査－上位10圏域－				「1年後」の先行き見通しDI－上位10圏域－			
都道府県	圏域	主な都市	景気DI	都道府県	圏域	主な都市	先行き見通しDI
和歌山県	和歌山南部	田辺市・新宮市	50.0	佐賀県	佐賀北部	唐津市・伊万里市	51.4
熊本県	県南・天草	八代市・天草市	45.8	神奈川県	県西	小田原市・南足柄市	51.2
高知県	高知東部	南国市・室戸市	44.1	広島県	備北	三次市・庄原市	50.0
岡山県	美作	津山市・真庭市	43.7	高知県	高知東部	南国市・室戸市	50.0
広島県	備北	三次市・庄原市	43.3	山梨県	東部・富士五湖	富士吉田市・都留市	48.6
奈良県	奈良中和	橿原市・香芝市	43.1	岐阜県	中濃・飛騨	可児市・高山市	48.3
宮崎県	都城北諸県	都城市・日南市	42.8	長野県	佐久・上小	上田市・佐久市	48.2
福島県	会津	会津若松市・喜多方市	42.7	千葉県	千葉北東部	銚子市・茂原市	47.5
千葉県	千葉北東部	銚子市・茂原市	41.9	熊本県	熊本県北	玉名市・合志市	47.4
福島県	浜通り	いわき市・南相馬市	41.0	福島県	浜通り	いわき市・南相馬市	47.2

まとめ

本レポートでは、2020年12月のTDB景気動向調査を用いて、全国を130圏域に分割して圏域別の景気DIと「1年後」の先行き見通しDIを算出し、特徴を捉えた。

2020年12月の圏域別の景気DIは、前月比減少となった圏域が11月より増加し、40台以上の水準となる圏域も減少した。一方、年度末に向けた工事量の増加などにより『建設』がけん引した「和歌山南部」では50.0となるなど、一部圏域では回復傾向がみられた。

また、「1年後」の先行き見通しDIは、新型コロナウイルスに対するワクチン接種などによる消費行動の改善など期待感が含まれるものの、堅調な公共工事や地場の産業に下支えされ好況を見込む圏域は多い。

今後の見通しとして明るい傾向はみられるものの、引き続き新型コロナウイルスの感染動向に左右されると予想される。圏域によって、景況感への影響には濃淡があり、その特徴について把握することは、地域経済の維持・回復への喫緊の課題と言えよう。

【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

池田 直紀

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、
こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方は QR コードからも可能です）。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。